香川高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	英語ＩＢ

科目基礎情報

科目番号	221024	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	電気情報工学科（2019年度以降入学者）	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	My Way Logic and Expression Ⅰ, Workbook （三省堂）		
担当教員	森下 二郎		

到達目標

インプット仮説に基づき、英文読解能力の向上を第一目標とする。
英文の基本構造である動詞の文型、品詞・句と節を理解し、今後の英語能力向上の土台を築く。
CEFR A2に相当する英語力を身につける。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	単語・文法を正確に理解し、英文の内容を完全に理解できる。	単語・文法の要点を理解し、英文の内容の概要を把握できる。	単語・文法の理解が不十分であり、英文の内容の理解が難しい。
評価項目2	課題を行い、かつ不明な点はしっかり自身で調べる。 授業中に質問する、ハキハキ返答するなど、授業の士気を高める。	課題を一通り行う。 授業中に他の学生に迷惑をかける行為を行わない。	課題を行わない。 授業中に私語・文句をいう・遊ぶなど、授業の士気を下げる。
評価項目3	授業外で意欲的に英語で情報を収集し、かつ資格試験にも取り組む。	授業外で英語で情報を収集する。	授業外では全く英語と触れ合わない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	動詞の５文型、品詞・句と説という英文の基本構造を理解すると同時に、時制、助動詞、受動態、不定詞、動名詞、分詞、知覚・使役動詞、比較表現、仮定法、部分否定・準否定、間接話法、接続詞など、英語の文法も学んでいく。英文読解力を鍛え、アウトプットを含む全ての言語活動に必要な大量の「理解可能なインプット」を取り込む下地をつける。またリスニングや自由読書の時間を設け、理解可能なインプットの吸収を図る。加えて、プレゼンテーションを課すことで、「心の中でのリハーサル」（脳内アウトプット）を促進し、学生のアウトプット活動を確かにする。
授業の進め方・方法	テキスト「My May Logic and Expression」に沿って授業を進めると同時に、適宜プリントを配布し、英文の基本構造の理解を図っていく。リスニング力も同時に上げるため発音・リスニングの時間を毎授業とる。毎授業、各自持参してきてもらった英語の読み物を読む時間をとる。他に、学生はブックレコードの作成、学期毎におすすめの本を紹介する英語プレゼンテーションを行ってもらう。
注意点	遅れて進む学生には、定期試験などの結果を分析しつつ、適宜、個別に適切な課題を与えて、しっかりと学習効果が上がるように支援していきたい。特に、英文読解の下地となる、英文の基本構造の理解は徹底して指導・支援してゆきたい。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション（テキストの使い方や授業の進め方について説明する）	授業に取り組む準備ができる。
		2週	Lesson 1 Part 1; 英語の基本構造１回目	現在形（be動詞）を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		3週	Lesson 1 Part 2；英語の基本構造2回目(品詞、句・節)；自由読書１回目	現在形（do動詞）を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		4週	Lesson 2 Part 1；英語の基本構造３回目(動詞の文型 Part 1, 第１文型)；発音；自由読書２回目	過去形（be動詞、do動詞）を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		5週	Lesson 2 Part 2；英語の基本構造４回目(動詞の文型 Part 1, 第３文型)；発音；自由読書３回目	現在進行形・過去進行形を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		6週	Lesson 3 Part 1；英語の基本構造５回目(動詞の文型 Part 1, 第１＆３文型まとめ)；リスニング：；自由読書４回目	未来表現(will, be goin to)を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		7週	Lesson 3 Part 2；英語の基本構造６回目(動詞の文型 Part 1, 第２文型)；リスニング；自由読書５回目	基本時制のまとめ、それらを含んだ英文を読解・産出することができる
		8週	中間試験	前期中間テストまでの学習熟度を確認する。
	2ndQ	9週	Lesson 4 Part 1；英語の基本構造７回目(動詞の文型 Part 2, 第４文型)；リスニング；；自由読書６回目	現在完了形（１）を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		10週	Lesson 4 Part2；英語の基本構造８回目(動詞の文型 Part 2, 第５文型)；リスニング；自由読書７回目	現在完了形（２）を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		11週	Lesson 5 Part 1；英語の基本構造９回目(動詞の文型 Part 2, 受動態)；リスニング；自由読書８回目	助動詞を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		12週	Lesson 5 Part 2；学生による本紹介1回目（１～６）	受動態を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。 プレゼンテーションを通じ、英語の運用力を高める。
		13週	学生による本紹介（７～１８）	プレゼンテーションを通じ、英語の運用力を高める。
		14週	学生による本紹介（１９～３０）	プレゼンテーションを通じ、英語の運用力を高める。
		15週	学生による本紹介（３１～４２）	プレゼンテーションを通じ、英語の運用力を高める。
		16週	期末試験	前期期末テストまでの学習熟度を確認する。

後期	3rdQ	1週	オリエンテーション；英語の基本構造の復習と予習	オリエンテーションを行い、授業の進め方を把握する。後期の学習内容の全体像を提示し、学生の目的意識を高める。
		2週	Lesson 7 Part Ⅰ; 英語の基本構造１１回目（動詞の変化利用、動名詞）	動名詞を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		3週	Lesson 6 Part Ⅰ; 英語の基本構造１２回目（動詞の変化利用、不定詞[名詞的、形容詞的用法]）	不定詞を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		4週	Lesson 6 Part 2; ; 英語の基本構造１３回目（動詞の変化利用、不定詞[副詞的用法]）	不定詞を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		5週	Lesson 7 Part2；英語の基本構造１４回目（動詞の変化利用、分詞）	分詞を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		6週	Lesson 8 Part１；リスニング	比較を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		7週	Lesson 8 Part２；リスニング	比較を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		8週	後期中間試験	後期中間テストまでの学習習熟度を確認する。
	4thQ	9週	英語の基本構造１５回目（名詞・名詞句・名詞節）	名詞・名詞句・名詞節を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		10週	英語の基本構造１６回目（名詞・名詞句・名詞節）	形容詞・形容詞句・形容詞節を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		11週	Lesson 9 Part１;英語の基本構造１７回目（形容詞・形容詞句・形容詞節）	関係代名詞を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		12週	Lesson 9 Part２	関係代名詞を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		13週	Lesson １０ Part １;英語の基本構造１８回目（形容詞・形容詞句・形容詞節）	関係副詞を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		14週	英語の基本構造１９回目（副詞・副詞句・副詞節）	副詞・副詞句・副詞節を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		15週	Lesson １０ Part２;英語の基本構造２０回目（副詞・副詞句・副詞節）	仮定法を理解し、それを含んだ英文を読解・産出することができる。
		16週	後期期末試験	後期期末テストまでの学習習熟度を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前3,前4
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前5,前6
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前7,前8
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前9,前10
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前11
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前12
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前13
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前14
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前15
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	後1,後2
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	後3,後4
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	後5,後6
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	後7,後8
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	後9,後10
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	後11,後12
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	後13,後14

				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	後15
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	後16

評価割合

	試験	授業態度	自立学習能力	合計
総合評価割合	60	20	20	100
評価項目(1)	60	0	0	60
評価項目(2)	0	20	0	20
評価項目(3)	0	0	20	20